

～ともに助け合うまちづくり～

精神障がい者の日常生活の改善等に向けワークショップを開催しました。

障がいのある方が生活していく上で困っておられることや災害時における心配ごとなどについてアンケートを行い、230名の方から回答をいただきました。

6月2日の会議では、知的障がい分野の回答に焦点をあて意見交換し、問題解決の方法や災害時の支援等についてグループワーク形式で話し合い、実現可能な解決策の一部として、以下の3点に意見をまとめることができました。

- ① 相談窓口がはっきりと分かるシンプルな広報の必要性
- ② 地域で障がいについての理解を深める勉強会の実施
- ③ 障がいのある方、そのご家族を支えるボランティアの育成

8月4日の会議では、精神障がい分野の回答について話し合いをし、まず、精神障がいの特徴について、精神障害者支援NPOの職員の方や区役所の精神保健福祉士より話を伺い知識を深めました。

その後の意見交換では、「関わり方を知りたい」「どう対応していいか分からないから知識が必要」「ご家族への支援が必要」「日頃から付き合いがあれば災害時も助けることができる。当事者が参加しやすい地域交流の場があれば」などの意見が挙がりました。

やはり知的障がい分野と同じく上記①～③について取組む必要性を確認しました。

<グループワークによる意見交換>

